

あなたのおうちを
避難所に

日常 × 防災

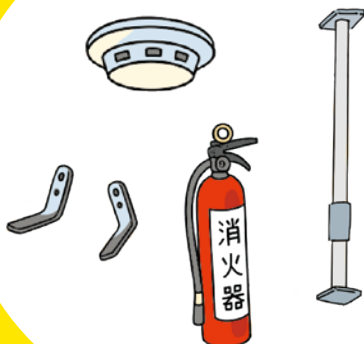
ポイント

インフラが止まった時の 対策がある



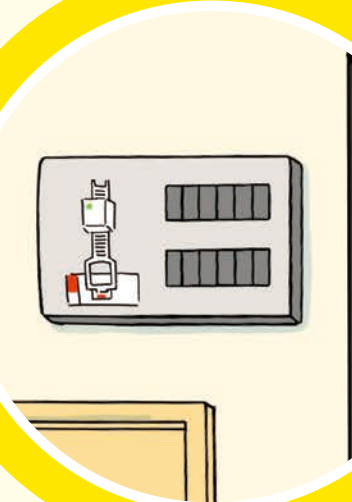
水道やガス、電気が止まった時、特に問題となるのがトイレです。携帯トイレや簡易トイレを備えましょう。また、カセットコンロがあると災害時でも温かいご飯が食べられて便利です。モバイルバッテリーも心強い味方になります。

2次災害を防ぐ 手段がある



揺れにより背の高い家具・家電が倒れてくると危険です。突っ張り棒や固定金具などの家具転倒防止器具で、動かないようにしましょう。また、過去の大地震では、火事による大きな被害がありました。住宅用火災警報器や消火器なども備えましょう。

感震ブレーカーがある



地震による火災は、停電復旧後に損傷した配線などから発火することがあります。感震ブレーカーは、地震を感知すると自動的にブレーカーが落ちて電気が止まるため、通電火災から家を守ることができます。

区が防災器具の設置を支援します

区は、家庭用消火器や住宅用火災警報器のあっせん、家具転倒防止器具と簡易な感震ブレーカーの無料設置を支援しています。また、購入した感震ブレーカーには補助金が出ます。ぜひ、ご利用ください。

※対象には条件があります。詳細はお問い合わせください

問 防災危機管理課防災危機管理担当 TEL 5744-1235 FAX 5744-1519



防災を日常にしよう。在宅避難のススメ

災害時の避難は、「どこに行くか」だけでなく、「どう過ごすか」も大切です。自宅が安全であれば、在宅避難の方がプライバシーの守られた生活スペースが確保でき、自分の好みや体に合った備蓄品で生活するため、ストレスなく過ごせます。また、ペットと一緒に過ごすことができます。実は、身の回りには災害時にも役立つグッズがたくさんあります。キャンプや山登りなどのアウトドアで使っているものも、防災グッズになります。日常生活や趣味の中で災害時に使えるようなものを少しずつ見つけて、自分に合った無理のない防災対策を進めましょう。



● わが家の防災チェックBOOK 家庭での防災対策にご活用ください。



配布場所

- ・防災危機管理課
- ・区政情報コーナー
- ・特別出張所

詳細はコチラ



未来をつくる

おおたアクション!



今やろう防災知識のアップデート

日本各地で地震や豪雨などの災害が頻発しています。7月には、熊本県を震源とする最大震度7の地震が発生しました。いつ起きてもおかしくない大災害に備え、日頃から防災に対する意識を高め、知識を蓄え、情報の更新を図っておくことが、いざという時に大切な人を守る力になります。この機会に自宅の備蓄物品の確認や災害発生時取るべき行動、ご家族との連絡方法などを改めて見直してみましょう。

問 防災危機管理課防災危機管理担当 TEL 5744-1611 FAX 5744-1519



大田区 鈴木 晶雅

防災を意識したおうちには、災害発生後も家で生き延びるための工夫がたくさん。絵の中には6つ大きなポイントがありました。一つひとつ、その工夫を見てみましょう。



地震発生後、復旧までに電気・通信は4日間、水道は3週間、ガスは6週間以上かかります。災害発生後1週間以上を生き延びる備えを！

少し多めの買い物をしている



災害時に食べ慣れた味があると、心と体を健康に保つことができます。よく食べる食品を多めに買って蓄えましょう。パックごはんやレトルト食品はもちろん、調味料やチョコレートなどのカロリーの高いお菓子も立派な備蓄品です。

1週間生き延びる備蓄をしている



災害発生から支援が届くまでには時間がかかります。特に、集合住宅の上層階に住む方は、エレベーターが止まると物資の確保が大変です。生活環境に合わせて多めに備蓄するのも重要です。

賞味期限が近い非常食を消費している



賞味期限が近い非常食を日々の食事の中で消費することで、フードロスを防げるだけでなく、コスト削減にもつながります。減った分はまた買い足すことを忘れず、備蓄の量を一定に保つようにしましょう。

備蓄の基本はローリングストック

ローリングストックとは、日頃から災害時を想定して食品を多めに買い置きし、期限を考えて消費、その分をもう一度買い足す、の3つのサイクルを回すことで、無理なく食料・飲料を備蓄する方法です。常に一定の備蓄を確保できる点や、保管用のスペースを取らない点などメリットが多く、注目されています。「常温で保存可能か」と「複雑な調理を必要としない」ことを備蓄する食品を選ぶ目安として、近くのスーパーやコンビニエンスストアで探してみましょう。



もし災害が起きたら…



都が給水ステーションを設置します

都では、都内に200か所以上、災害時給水ステーション（給水拠点）を設置しており、おおむねお住まいの半径2kmの範囲内に開設されます。いざという時に備え、近くの災害時給水ステーションをご確認ください。発災時は、成人が1日に必要な飲料水の量である3Lを目安に給水します。給水の際は、水を入れる清潔な容器（ペットボトルやポリタンクなど）をご用意ください。

● 区内の給水ステーション

馬込給水所・上池台給水所・東海給水所・西六郷三丁目公園・萩中公園・都堀公園・下丸子公園・女塚なかよし公園

発災時の開設状況は、東京都水道局アプリか問合せ先HPをご覧ください。

問 東京都水道局サービス推進部管理課
TEL 5320-6422



このマークが目印です



避難所受付のデジタル化を開始しました

●避難所受付のデジタル化
これまで避難所の受付を紙の様式（避難者カード）で行っていたため、受け入れに時間を要することが課題となっていました。区では、避難所運営や避難者管理にデジタル技術を導入し、効率化や利便性の向上を図ります。令和8年度から新たに大田区防災アプリやマイナンバーカードを活用した避難所受付を開始しました。「もしも」のときに備え、情報の事前登録をお願いします。

●情報の事前登録
大田区防災アプリに避難所チェックイン機能を搭載しました。お手持ちのスマートフォンにダウンロードの上、避難者情報の事前登録をお願いします。



● 大田区防災アプリ

ダウンロードは
こちら



問 防災危機管理課防災危機管理担当

TEL 5744-1236
FAX 5744-1519

